

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国 <sup>2)</sup>	豪州 <sup>2)</sup>	農薬抄録	食品安全委員会
	2年間慢性毒性/発がん性併合試験	0, 5, 20, 100 ppm 雄: 0, 0.2, 0.8, 5.2 雌: 0, 0.3, 1.3, 7.3	— 全投与群で脳 ChE 活性阻害 (10%超)  (発がん性は認められない)	雄: 0.2 雌: 0.3 雄: 精巣上体への影響等 雌: 眼への影響等  (発がん性は認められない)	— 全投与群で血漿 ChE 活性阻害  (発がん性は認められない)	雄: 0.2 雌: 0.3 雌雄: 赤血球及び脳 ChE 活性阻害 (20%以上) 等  (発がん性は認められない)	雄: 0.2 雌: 0.3 雌雄: 赤血球及び脳 ChE 活性阻害 (20%以上) 等  (発がん性は認められない)
	3世代繁殖試験	0, 3, 15, 75 ppm 0, 0.15, 0.75, 3.75 (計算値)	/	/	/	親動物 雌雄: 0.75 児動物: 3.75  親動物 雌雄: 体重増加抑制 児動物: 毒性所見なし  (繁殖能に対する影響は認められない)	親動物 雌雄: 0.75 児動物: 3.75  親動物 雌雄: 体重増加抑制 児動物: 毒性所見なし  (繁殖能に対する影響は認められない)
	2世代繁殖試験	0, 1, 2, 14, 100 ppm 0, 0.08, 0.16, 1.16, 8.3	母体: 0.16 繁殖能: 1.16  母体: 赤血球及び脳 ChE 活性阻害 (20%以	親動物: 0.1 児動物: 0.1  親動物: 精巣上体管上皮空胞化、血漿 ChE 活性阻害等	親動物 雄: 0.16 雌: 0.08 児動物: 1.16  親動物 雄: 精巣上体の変化等	親動物 雌雄: 0.16 児動物: 1.16 繁殖能: 1.16  親動物、児動物: 赤血球又は脳 ChE 活性阻害 (20%以	親動物 雌雄: 0.16 児動物: 1.16 繁殖能: 1.16  親動物、児動物: 赤血球又は脳 ChE 活性阻害 (20%以

44

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国 <sup>2)</sup>	豪州 <sup>2)</sup>	農薬抄録	食品安全委員会
	発生毒性試験①	0, 1, 3, 10	上) 繁殖能: 受胎率低下等 (受胎率低下等)	児動物: 血漿 ChE 活性阻害 (受胎率低下等)	雌: 血漿 ChE 活性阻害 児動物: 新生児死亡増加、低体重	上) 等 (受胎率低下等)	上) 等 (受胎率低下等)
			母動物: 10 胎児: 10  母動物及び胎児: 毒性所見なし (催奇形性は認められない)	/	/	母動物: 10 胎児: 10  母動物及び胎児: 毒性所見なし (催奇形性は認められない)	母動物: 10 胎児: 10  母動物及び胎児: 毒性所見なし (催奇形性は認められない)
	発生毒性試験②	0, 1, 4.2, 18	母動物: — 胎児: 18  母動物: 赤血球 ChE 活性阻害 (20%超)、脳 ChE 活性阻害 (10%超) 胎児: 毒性所見なし (催奇形性は認められない)	母動物、胎児: 4.2 ChE 活性: —  母動物: 胸腺腫増加 胎児: 吸収胚数増加、骨化遅延  (催奇形性は認められない)	母動物: — 胎児: 4.2  母動物: 赤血球 ChE 活性阻害等 胎児: 吸収胚数増加、骨化遅延  (催奇形性は認められない)	母動物: — 胎児: 18  母動物: 赤血球 ChE 活性阻害 (20%以上) 胎児: 毒性所見なし  (催奇形性は認められない)	母動物: — 胎児: 18  母動物: 赤血球 ChE 活性阻害 (20%以上) 胎児: 毒性所見なし  (催奇形性は認められない)
マウス	90日間亜急性毒性試験	0, 1, 3, 12, 50, 200 ppm 雄: 0, 0.153, 0.304, 1.87, 7.89, 30.1 雌: 0, 0.175, 0.553, 2.16, 8.61, 38.7	/	/	/	雄: 0.304 雌: 0.553  雄: 脳 ChE 活性阻害 (20%以上) 雌: 赤血球及び脳 ChE 活性阻害 (20%以上)	雄: 0.304 雌: 0.553  雄: 脳 ChE 活性阻害 (20%以上) 雌: 赤血球及び脳 ChE 活性阻害 (20%以上)

45

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国 <sup>2)</sup>	豪州 <sup>2)</sup>	農薬抄録	食品安全委員会
	2年間 発がん性 試験	0, 0.1, 1, 5, 25 ppm	1.95	血漿 ChE 雌雄: 0.03 赤血球 ChE 雄: 1.95 雌: 2.25	0.03	雄: 1.95 雌: 2.25	雄: 1.95 雌: 2.25
		雄: 0, 0.03, 0.4, 1.95, 9.42 雌: 0, 0.03, 0.47, 2.25, 10.6	赤血球及び脳 ChE 活性阻害  (発がん性は認め られない)	(発がん性は認め られない)	(発がん性は認め られない)	雌雄: 赤血球及び 脳 ChE 活性阻害 (20%以上) 等  (発がん性は認め られない)	雌雄: 赤血球及び 脳 ChE 活性阻害 (20%以上) 等  (発がん性は認め られない)
ウサギ	発生毒性 試験①	0, 2, 6, 18	/	/	胎児: 2  胎児: 後期吸収胚 増加	母動物: 2 胎児: 6  母動物: 後期吸収 胚数増加 胎児: 低体重  (催奇形性は認め られない)	母動物: 2 胎児: 6  母動物: 後期吸収 胚数増加 胎児: 低体重  (催奇形性は認め られない)
		0, 1, 2.75, 7.5	母動物: 1 胎児: 7.5  母動物: 赤血球 ChE 活性阻害 (20%超)、脳 ChE 活性阻害 (10%超) 胎児: 毒性所見なし  (催奇形性は認め られない)	母動物: 1 胎児: 2.75  母動物: 赤血球及 び脳 ChE 活性阻害 胎児: 中手骨未骨 化増加  (催奇形性は認め られない)	母動物: 1 胎児: 2.75  母動物: 赤血球及 び脳 ChE 活性阻害 胎児: 中手骨未骨 化増加  (催奇形性は認め られない)	母動物: 1 胎児: 7.5  母動物: 赤血球及 び脳 ChE 活性阻害 (20%以上) 胎児: 毒性所見なし  (催奇形性は認め られない)	母動物: 1 胎児: 7.5  母動物: 赤血球及 び脳 ChE 活性阻害 (20%以上) 胎児: 毒性所見なし  (催奇形性は認め られない)

46

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国 <sup>2)</sup>	豪州 <sup>2)</sup>	農薬抄録	食品安全委員会
イヌ	1年間 慢性毒性 試験	0, 2, 10, 50 ppm	0.06	0.056	0.05	雄: 0.258 雌: 0.262	雄: 0.258 雌: 0.262
		雄: 0, 0.056, 0.258, 1.23 雌: 0, 0.056, 0.262, 1.18	脳 ChE 活性阻害 (10%超)	血漿及び赤血球 ChE 活性阻害	血漿 ChE 活性阻害	雌雄: 赤血球及び 脳 ChE 活性阻害 (20%以上)	雌雄: 赤血球及び 脳 ChE 活性阻害 (20%以上)
	2年間 慢性毒性 試験	0, 3, 10, 30, 50, 100 ppm	0.09	/	0.08	雄: 0.09 雌: 0.33	雄: 0.09 雌: 0.33
		雄: 0, 0.09, 0.31, 1.23 雌: 0, 0.1, 0.33, 1.25	雄: 赤血球 ChE 活 性阻害 (20%超) 雌: 脳 ChE 活性阻 害 (10%超)	/	血漿 ChE 活性阻害	雄: 赤血球 ChE 活 性阻害 (20%以上) 雌: 赤血球及び脳 ChE 活性阻害 (20%以上)	雄: 赤血球 ChE 活 性阻害 (20%以上) 雌: 赤血球及び脳 ChE 活性阻害 (20%以上)
ニワトリ	30日間 亜急性 遅発性 神経毒性 試験	0, 10, 25, 50, 100 ppm	/	/	/	1.25	1.25
		0, 1.25, 3.13, 6.25, 12.5 (計算値)	/	/	/	血中 ChE 活性阻害 (20%以上)  (遅発性神経毒性 は認められない)	血中 ChE 活性阻害 (20%以上)  (遅発性神経毒性 は認められない)
サル	2年間 慢性毒性 試験	0, 0.02, 0.07, 0.2	0.07	0.02 (LOEL)	0.07	雌雄: 0.07	雌雄: 0.07
			赤血球 ChE 活性阻 害 (20%超)	血漿 ChE 活性阻害	血漿 ChE 活性阻害	雌雄: 赤血球 ChE 活性阻害 (20%以 上)	雌雄: 赤血球 ChE 活性阻害 (20%以 上)
ヒト	4週間 反復投与 試験	0, 0.02, 0.07	0.07	0.02 (LOEL)	血漿 ChE: 0.02 赤血球 ChE: 0.07	男性: 0.07	男性: 0.07
			毒性所見なし	血漿 ChE 活性阻害	毒性所見なし	毒性所見なし	毒性所見なし

47

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国 <sup>2)</sup>	豪州 <sup>2)</sup>	農業抄録	食品安全委員会
ADI (cRfD)			NOAEL : 0.07 SF : 10 ADI : 0.007	NOAEL/LOAEL (境界値) : 0.02 UF : 300 cRfD : 0.00007	NOEL : 0.02 SF : 10 ADI : 0.002	NOAEL : 0.07 SF : 10 ADI : 0.007	NOAEL : 0.07 SF : 30 ADI : 0.0023
ADI (cRfD) 設定根拠資料			ヒト4週間反復 投与試験	サル2年間慢性 毒性試験	ヒト4週間反復 投与試験	ヒト4週間反復 投与試験	ヒト4週間反復 投与試験

/: 試験記載なし。

—: 無毒性量は設定できなかった。

NOAEL: 無毒性量 NOEL: 無影響量 LOAEL: 最小毒性量 LOEL: 最小影響量 SF: 安全係数 UF: 不確実係数 ADI: 一日摂取許容量  
cRfD: 慢性参照用量

1) 無毒性量欄には、最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

2) 米国及び豪州ではすべて無影響量が示されている。

＜別紙1: 代謝物/分解物略称＞

記号	抄録中の記号	名称 (略称)	化学名
B	II	MPP スルホキシド P=S,SO	O,Oジメチル O-(4-メチルフェニル)イニル-m-トリル ホスホロチオアト
C	III	MPP スルホン P=S,SO <sub>2</sub>	O,Oジメチル O-(4-メチルフェニル)ホスホロトリル ホスホロチオアト
D	IV	MPP オキソン P=O,S	O,Oジメチル O-(4-メチルフェニル)トリルホスファ ート
E	V	MPP オキソンスルホキシド P=O,SO	O,Oジメチル O-(4-メチルフェニル)イニル-m-トリル ホスファート
F	VI	MPP オキソンスルホン P=O,SO <sub>2</sub>	O,Oジメチル O-(4-メチルフェニル)ニル-m-トリル ホスファート
G	VII	フェノール Ph,S	4-メチルフェニル-3-メチルフェニル
H	VIII	フェノール スルホキシド Ph,SO	4-メチルフェニル-3-メチルフェニル
I	IX	フェノール スルホン Ph,SO <sub>2</sub>	4-メチルフェニル-3-メチルフェニル
J	X	Ph-SO <sub>2</sub> -Me	3-メチル-4-(メチルフェニル)フェニル
K	XI	脱メチルフェニル チオン Des-Me-P=S,S	O-メチル O-(4-メチルフェニル)ホスホロチオア ート
L	XII	脱メチル PSSO Des-Me-P=S,SO	チオリン酸 O-(4-メチルフェニル)イニル-3-メチル フェニル)エチル O-メチルフェニル
M	XIII	Des-Me-P=S,SO <sub>2</sub>	チオリン酸 O-(4-メチルフェニル)ニル-3-メチル フェニル)エチル O-メチルフェニル
N	XIV	脱メチル POS Des-Me-P=O,S	リン酸 メチルフェニル 3-メチル-4-メチル フェニル)エチル O-メチルフェニル
O	XV	脱メチル POSSO Des-Me-P=O,SO	リン酸 4-メチルフェニルイニル-3-メチルフェニル エチル O-メチルフェニル
P	XVI	Des-Me-P=O,SO <sub>2</sub>	リン酸 4-メチルフェニルニル-3-メチルフェニル エチル O-メチルフェニル
Q	XVII	Ph-SO <sub>2</sub> グルコース 抱合体 Ph-SO <sub>2</sub> グルコース 抱合体	
R	XVIII	Ph-SO <sub>2</sub> グルコース 抱合体 Ph-SO <sub>2</sub> -glu	
S	XIX	3-メチルフェニル 代謝物 X	3-メチルフェニル
T	XX	Ph-SO <sub>2</sub> H	4-ヒドロキシ-2-メチルフェニルホスホン酸

<別紙2：検査値等略称>

略称	名称
ACH	アセチルコリン
ACHE	アセチルコリンエステラーゼ
ai	有効成分量 (active ingredient) アラニソアミノトランスフェラーゼ [ニグルタミソ酸ピルピソ酸トランスアミナーゼ (GPT)]
ALT	生物濃縮係数
BCF	コリンエステラーゼ
ChE	最高濃度
C <sub>max</sub>	カルボキシメチルセルロース
CMC	機能観察総合検査
FOB	グルコース (血糖)
Glu	半数致死濃度
L <sub>50</sub>	半数致死量
L <sub>D50</sub>	神経障害標的エステラーゼ
NTE	環境中子濃度
PEC	消失半減期
T <sub>1/2</sub>	総投与 (処理) 放射能
TAR	総コレステロール
T.Chol	最高濃度到達時間
T <sub>max</sub>	総蛋白質
TP	総残留放射能
TRR	不定期 DNA 合成
UIDS	

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)						
					フェンチオン		①フェンチオン+B+C		②D+E+F		①+② 合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
稲 (玄米) 1993年	2	1,600 <sup>G</sup>	2	60	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.005	<0.005	<0.009
				82	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.005	<0.005	<0.009
稲 (稲わら) 1993年	2	1,600 <sup>G</sup>	2	60	<0.02	<0.02	0.03	0.02	<0.02	<0.02	0.04*
				82	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
稲 (玄米) 1993年	2	750 <sup>EC</sup> +800 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	0.016	0.01	0.01	0.006*	0.016*
				21	<0.02	<0.02	0.67	0.54	0.47	0.30	0.84
稲 (玄米) 1993年	1	800 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	0.005	0.004*	0.005	0.005*	0.009*
				30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.005	<0.005	<0.009
稲 (稲わら) 1993年	1	800 <sup>D</sup>	2	21	<0.02	<0.02	0.13	0.13	0.08	0.08	0.21
				30	<0.02	<0.02	0.06	0.06	0.03	0.03	0.09
稲 (玄米) 1994年	2	1,600 <sup>G</sup> +800 <sup>D</sup>	2	20~21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.005	<0.005	<0.009
		1,600 <sup>G</sup> +750 <sup>EC</sup>	2	29~30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.005	<0.005	<0.009
		750 <sup>EC</sup> +800 <sup>D</sup>	2	20~21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.005	<0.005	<0.009
		600 <sup>D</sup>	2	20~21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.005	<0.005	<0.009
稲 (玄米) 1994年	4	1,600 <sup>G</sup> +800 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	0.009	0.006*	<0.005	<0.005	0.011*
		1,600 <sup>G</sup> +750 <sup>EC</sup>	2	30	<0.005	<0.005	0.014	0.010	0.009	0.006	0.016
		750 <sup>EC</sup> +800 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	0.015	0.013	0.009	0.007	0.020
	1	600 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005	0.011*
	2	800 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	0.007	0.006*	<0.005	<0.005	0.011*

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)						
					フェンチオン		①フェンチオン+B+C		②D+E+F		①+②
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	合計
稲 (玄米) 1994年	2	1,600 <sup>G</sup> +800 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
		1,600 <sup>G</sup> +750 <sup>EC</sup>	2	30	<0.005	<0.005	0.010	0.008*	0.007	0.006*	0.014*
		750 <sup>EC</sup> +800 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	0.014	0.010*	0.008	0.006*	0.016*
		800 <sup>D</sup>	2	21	<0.005	<0.005	0.005	0.005*	0.006	0.006*	0.011*
あずき (乾燥子実) 1972年	1	500 <sup>EC</sup>	4	63	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.02	<0.02	<0.025
			6	21	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.02	<0.02	<0.025
あずき (乾燥子実) 1971年	1	500 <sup>EC</sup>	4	30	0.002	0.002	<0.002				<0.002
			6	30	<0.001	<0.001	<0.002				<0.002
あずき (乾燥子実) 1994年	2	750 <sup>EC</sup>	4	14	<0.005	<0.004	0.020	0.011*	0.020	0.011*	0.022*
			21	21	<0.005	<0.004	0.017	0.010*	0.010	0.007*	0.017*
だいず (乾燥子実) 1980年	2	900 <sup>EC</sup>	3	45	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.008	<0.008	<0.012
	2	7,500 <sup>EC</sup>	3	45	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.008	<0.008	<0.012
だいず (乾燥子実) 1994年	2	750 <sup>EC</sup>	3	21	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.009
			30	30	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.009
ばれいしょ (塊茎) 1994年	2	750 <sup>EC</sup>	2	7	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.009
			14	14	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.005	<0.004	<0.009
やまのいも (塊茎) 1979年	1	4,500 <sup>G</sup>	1	37	<0.004	<0.004	<0.008	<0.008	<0.02	<0.02	<0.028
			47	47	<0.004	<0.004	<0.008	<0.008	<0.02	<0.02	<0.028
			107	107	<0.004	<0.004	<0.008	<0.008	<0.02	<0.02	<0.028
			1~3	36	<0.004	<0.004	<0.008	<0.008	<0.02	<0.02	<0.028
			63	<0.004	<0.004	<0.008	<0.008	<0.02	<0.02	<0.028	
			97	<0.004	<0.004	<0.008	<0.008	<0.02	<0.02	<0.028	

52

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)						
					フェンチオン		①フェンチオン+B+C		②D+E+F		①+②
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	合計
やまのいも (塊茎) 1994年	2	4,500 <sup>G</sup>	3	29~30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
				45	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
					<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
かんしょ (塊根) 1973年	2	3,000 <sup>G</sup>	1	28	<0.002	<0.002	<0.005	<0.004	<0.01	<0.007	<0.011
				84	<0.002	<0.002	<0.005	<0.004	<0.01	<0.007	<0.011
				44	<0.002	<0.002	<0.005	<0.004	<0.01	<0.007	<0.011
				92	<0.002	<0.002	<0.005	<0.004	<0.01	<0.007	<0.011
		4,500 <sup>G</sup>	1	28	0.004	0.003*	0.006	0.004*	<0.01	<0.007	0.011*
				84	<0.002	<0.002	<0.005	<0.004	<0.01	<0.007	<0.011
4,500 <sup>G</sup>	1	97	<0.002	<0.002	<0.005	<0.004	<0.01	<0.007	<0.011		
		44	<0.002	<0.002	<0.005	<0.004	<0.01	<0.007	<0.011		
92	<0.002	<0.002	<0.005	<0.004	<0.01	<0.007	<0.011				
かんしょ (塊根) 1993年	2	800 <sup>D</sup>	2	30	<0.003	<0.003	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
		4,500 <sup>G</sup>	2	30	<0.003	<0.003	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
さとうきび (茎) 1976年	2	1,800 <sup>D</sup> + 18,000 <sup>EC</sup>	2	116	<0.002	<0.0014	/	/	/	/	/
				213	<0.002	<0.0014	/	/	/	/	/
				231	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.022
				421	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.022
		3,000 <sup>G</sup>	1	200	<0.002	<0.0014	/	/	/	/	
				297	<0.002	<0.0014	/	/	/	/	
		3,000 <sup>G</sup>	1	329	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.022
				519	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.022
4,500 <sup>G</sup>	1	200	<0.002	<0.0014	/	/	/	/			
		298	<0.002	<0.0014	/	/	/	/			
329	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.022				
519	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.022				

53

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)						
					フェンチオン		①フェンチオン+B+C		②D+E+F		①+②
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	合計
さとうきび (茎) 1989年	2	2,000 EC	2	90	<0.005	<0.005	0.005	0.005*	<0.01	<0.008	0.013*
				100	<0.005	<0.005	0.009	0.006*	<0.01	<0.008	0.014*
		20,000 EC	2	90	<0.005	<0.005	0.033	0.016*	0.01	0.009*	0.025*
				100	<0.005	<0.005	0.043	0.020*	0.01	0.009*	0.029*
		4,500 D	2	90	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.01	<0.008	<0.012
				100	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.01	<0.008	<0.012

注) G: 粒剤, EC: 乳剤, D: 粉剤

- 一部に定量限界未満を含むデータの平均を計算する場合は、定量限界値を抽出したものと計算し、\*印を付した。
- すべてのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。

<参照>

- 1 食品安全委員会に意見を求められた案件/清涼飲料水:  
(URL: <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/uke-bunsoyo-20.pdf>)
- 2 7月1日付で厚生労働大臣から食品安全委員会委員長へ食品健康影響評価を依頼した事項: 食品安全委員会第3回合会資料  
(URL: <http://www.fsc.go.jp/hinkai/i-dai3/dai3kat-kouseisyousiryou.pdf>)
- 3 7月1日に厚生労働省より意見の聴取要請のあった、清涼飲料水の規格基準の改正について: 食品安全委員会農業専門調査会第1回合会資料 6  
(URL: <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai1/nou1-siryou6.pdf>)
- 4 第1回食品安全委員会農業専門調査会  
(URL: <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai1/index.html>)
- 5 第6回食品安全委員会農業専門調査会  
(URL: <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai6/index.html>)
- 6 第22回食品安全委員会農業専門調査会  
(URL: <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai22/index.html>)
- 7 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の一部を改正する件(平成17年11月29日付、厚生労働省告示第499号)
- 8 農薬抄録 MPP(殺虫剤)(平成21年8月3日改訂): パイエルクロンサイエンス株式会社、一部公表予定
- 9 JMPR: 895\_Fenthion (Pesticide residues in food: 1995 evaluations Part II Toxicological & Environmental)
- 10 JMPR: 909\_Fenthion (Pesticide residues in food: 1995 evaluations Part II Toxicological & Environmental)
- 11 JMPR: 931\_Fenthion (Pesticide residues in food: 1997 evaluations Part II Toxicological & Environmental)
- 12 US EPA: FENTHION: The HED Chapter of the Reregistration Eligibility Decision Document (RED) (1998)
- 13 US EPA: FENTHION: RE-EVALUATION: Report of the Hazard Identification Assessment Review Committee (1998)
- 14 US EPA: Interim Reregistration Eligibility Decision for Fenthion (2001)
- 15 Australia APVMA: Australian Residues Monograph for FENTHION (1962~1997)
- 16 フェンチオンの魚介類における最大推定残留値に係る資料
- 17 食品健康影響評価について  
(URL: [http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/uke-fenthion\\_201209.pdf](http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/uke-fenthion_201209.pdf))
- 18 第270回食品安全委員会  
(URL: <http://www.fsc.go.jp/hinkai/i-dai270/index.html>)
- 19 第31回食品安全委員会農業専門調査会総合評価第一部会

(URL : [http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou1\\_dai31/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou1_dai31/index.html))

20 第 55 回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会

(URL : [http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai\\_dai55/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai55/index.html))

21 第 61 回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会

(URL : [http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai\\_dai61/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai61/index.html))

22 INTERNATIONAL PROGRAMME ON CHEMICAL SAFETY : Environmental Health Criteria 104 : Principles for the Toxicological Assessment of Pesticide Residues in Food (1990)